

症状の説明（情・意）



精神症状 「情」①

感情の量的異常

気分高揚（爽快気分）：高揚した爽快な気分。行動過多、多弁、観念奔逸がみられる（躁状態）

多幸的：空虚で動機のない幸福感。思考・意欲の高揚はない（認知症）

抑うつ：病的な気分の落ち込みで、悲哀感、劣等感、罪悪感、思考／行動制止を伴う（うつ病）

不安：対象のない怖れ（これに対して恐怖には対象がある）

病的な不安は以下の特徴をもつ

- ・ 起こる原因が分からない
- ・ 持続性、反復性の強い不安
- ・ 不快感、緊張・焦燥、無力感を伴う
- ・ 交感神経の亢進（動悸、呼吸促迫、発汗、不眠等）を伴う
- ・ 急激な発作（不安発作）になることもある

情動麻痺：災害などの強い感情体験により、急性・一過性に生じた無感情状態（PTSD）

感情鈍麻：無関心で感受性も鈍くなっている状態（統合失調症）

精神症状 「情」②

感情の調節異常

情動失禁：極度の感情不安定で、情動変化をほとんど制御できない状態（脳血管性認知症）

易刺激性（易怒性）：些細な刺激で怒り、攻撃性、敵意などを示す状態

両価性：好悪や愛憎など対立した感情を同一対象に対して抱き統合できない状態（統合失調症）

精神症状 「意」①

意欲の量的異常

意欲：意志（欲動を統制する力）と欲動（あらゆる精神活動の源泉で、欲求・欲望・本能を含む）

- ・精神運動興奮：意志発動が著しく亢進している状態。次の2つが代表的（躁病性）興奮：爽快感を基盤とする多動・多弁で、一応の目的を持つ（躁病）

緊張病（統合失調症）性興奮：不安緊迫感を基盤とする多動で、了解不能のことが多い（統合失調症）

（参考）緊張病症候群（緊張型統合失調症）：緊張病性興奮、緊張病性昏迷、カタレプシー（蠟屈症）、反響動作／反響言語、常同症、拒絶症

- ・意欲減退：特に病的なものとしては以下の2つがある
 - 無為：周囲への感情的反応や関心が乏しくなる状態
 - 自閉：内面の主観世界に閉じこもり、現実への関心を失うこと（統合失調症の「無為自閉」）
- 昏迷（≠昏睡）：意志表出の欠如または極めて乏しい状態。意識は清明（統合失調症、うつ病 亜混迷）

精神症状 「意」②

意欲の調節異常

強迫行為：強迫観念が意思によって制御できなくなり行動化したもの（強迫性障害）

行為心迫：意志によって抑えきれない欲動が行動化したものだが、一応了解可能な行為（躁病）

精神症状 「意」③

欲動の調異常

食欲の異常：摂食中枢の器質的異常や精神的なもの

- ・食欲低下 例：うつ病、神経性食思不振症（拒食症）、統合失調症の拒食
- ・食欲亢進 例：躁病、神経性大食症（過食症）、認知症
- ・異食症（pica）例：精神遅滞、認知症（腸閉塞：イレウス）、統合失調症

性欲の異常

- ・性欲亢進 例：躁病（再興感染症：梅毒）、認知症、精神遅滞
- ・性欲低下 例：うつ病、内分泌障害（甲状腺機能低下症等）、アルコール

依存症

- ・性倒錯：対象で分類すると、小児愛、動物愛、屍体愛等

手段で分類すると、露出症、のぞき（窃視症）、サディズム、マゾヒズム等

睡眠の異常

- ・不眠：入眠困難、中途覚醒、早朝覚醒（うつ病、高齢者）、熟眠障害
- ・嗜眠 例：ナルコレプシー（睡眠発作、脱力発作、入眠時幻覚、睡眠麻痺）

睡眠時無呼吸症候群

自殺（生命保存本能の異常）例：うつ病、統合失調症

※詳しくは後日に扱う

講義は以上で終了です。おつかれさまでした。

症状の説明（情・意）

